



No. 144

発行所 松代町公民館  
館長 富沢清次  
電話(松代)1番  
印刷 松代印刷

変貌する町と建設の期待を画き

# 46年度新予算を議決

## 松代町総合計画基本構想など議定

松代町議会三月定例会は三月九日に招集され、三日間の日程を終えて三月十二日閉会しました。この定例会に付議された事件数は、  
・町長の提出議案三十四件  
・委員等の選任 二件  
・委員会報告 一件  
で合計三十七件でした。  
**補正予算等十五議案を可決**

第一日 三月九日

午前十時 小堺盛一議長開会を宣告、会議録署名議員に、関谷慶三郎、井上誠の各議員を指名、会期を三月十二日までの四日前と決定いたしました。ついで会期中の日程を報告、議事に入り、松代町中学校統合促進特別委員会の委員長報告を承認、昭和四十五年一般会計補正予算及び特別会計国民健康保険補正予算並に災害復旧事業負担金の減免についての三議案を一括上程、提案理由の説明のあと質疑応答ありそれぞれ原案のとおり可決、町教育委員会委員、柳徳雄の辞職により、後任者として、山岸

正平(蒲生)を選任同意、固定資産評価審査委員牧田栄一任期満了により後任に石野勇(木和田原)を選任同意次いで議第五号「新潟県交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について」上程、この交通災害共済組合は、県下の各市町村が任意に加入することができて現在まで十七市四十八町四十一村が加入している。このたび新井市が新加入することになったのでその増加の提案である。

議第六号 松代町職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正。

特種作業機械として近くモーターグライダー一台新規備付となるので、建設機械として一括名称の統一をしたもので、特種勤務手当額の改正ではない。  
議第七号「町道の廃止及び変更認定について」  
町道千年・大荒戸線。運平・仙納線。磯明・小池・田野倉線が各々道路延長及び幅員の増減、浮島橋の橋長、巾員、面積の増減、樋

ヶ沢橋、二瀬川橋、鬼田橋蓬平出合橋の各橋が延長、面積等道路延長面積に加えられたため廃止となった。  
議第八号 分校の廃止について。  
議第九号 松代町立学校設置条例の一部改正について。

本年三月三十一日を以て松代小学校池尻分校を廃止し、児童は松代小学校本校に通学することになった。  
議第十号 松代町民プール設置及び管理に関する条例の一部改正について。  
本年度、町民プール第二号を、大字室野(室野小学校の附近)に設置することになった。  
議第十一号 東頸城郡ごみ処理施設組合の設立について。

このたび本郡の松之山町を除く五カ町村がごみ処理組合を本年度中に、大島村地内に設置することになるため、その組合の設立と加入についての議案であって詳しいことは、これからの組合議会の審議によって決定されるが、本郡の生活環境衛生の見地から喜ばしいことと思われる。  
議第十二号 組合議会議員の選挙について。  
東頸城ごみ処理組合の議会の議員の選挙であって、加入各町村から町村長の他一名を議会議員のうちから

選挙され、その結果、小堺盛一議員に決定された。  
議第十三号 松代町総合計画基本構想の議決について。

市町村は、その事務を処理するに当っては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならぬという自治法の定めに基づき、松代町長は昨年五月、町総合計画審議会に諮問され、同審議会は数回にわたる委員会を開催の上、研究討議の結果基本構想の案を策定、本年二月に町長に答申したものであって、今回町議会の議を経たものである。(概要は別掲)  
議第十四号 米生産調整推進協議会設置条例の制定について。

国の施策による米の生産調整に対して、町の生産調整を円滑に適正に実施するためにこのように協議会を設置するものであります。委員数は二〇名とする。  
議第三〇号 災害復旧事業負担金の減免について。  
災害復旧事業の負担金を町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の規定によって天災その他特別の事情がある場合に限り、町議会の議決を経て賦課の徴収を延期し又賦課を免除す

ることができる(同条例第二条三項を除き)ことになっておりますので、昭和四三年発生災害、四四年災害に對してその工事負担金を減免するという議決である。  
議第十五号 松代町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について。他二十一件の議案を一括上程となり松代町長より新年度予算編成方針の説明(別掲)が行われた次いで二十一件の議案の提案理由の説明が行われ午後四時三〇分散会した。(出席議員二十二名)

第二日 三月十日  
午前九時五分再開 議長より一般質問を行う旨宣告若井忠蔵議員他六人の議員から一般質問が行われ午後四時散会した(出席議員二十二名)

第三日 三月十一日  
午前九時再開 新年度予算に関連する議第十五号案から議第三十一号、議第三十六号まで十七件について質疑が行われ、午前九時三十分より午後四時まで全員協議会を開会し、当初予算について細部の質疑が行われ、次いで、本会を再開し新年度一般会計予算及び特別会計予算等二十一件を一括審議の結果、可決確定した。午後三時三十分閉会。(出席議員二十二名)

### 町長・新年度予算編成方針

## 税外負担の解消と

## 過疎対策事業の推進

三月定例議会第一日目において、秋山町長は、新年度予算編成方針を次のように述べた。

昭和四十六年度予算編成に当り基本的な考えを簡単に申述べさせていただきます。

ご案内のように当町は近年過疎現象が一段と厳しい状況となりました。従ってこれが対策に重点的優先して取り組んであります。更にまた町の長期展望に立って総合計画を審議会にお願いたしていただきました。本年二月答申をいただきましたのでこれら基本構想を根幹に総合計画を尊重いたし、これに基き本年度予算を編成した次第であります。

昭和四十六年度一般会計予算等は、五億四千五百萬円で、財政規模は前年度当初予算より一億五百万円、二・八六%の増加となり、特別事業費の総合センター建設費五千七三三万円を差引くと増加額は四千七六三万円、一〇・八二%であって前年度予算の増加率を下廻る状態となります。

特別会計予算の合計額は一億九千九百九十五万七千円にして、前年度予算より機械施設特別会計の一般会計に統合等により、一千四百七十九万六千円の増加で国民健康保険特別会計の医療給付費二千四十一万四千円増の外は殆んど大差はありません。

一般会計及び特別会計の合計額は七億四千四百九十五万七千円、前年度予算に比して一億一千九百七十九万六千円、一九・一六%の増加となり、その主要な事業は概ね次のとおりであります。

- 一、税外負担の軽減
  - 米の減反、過疎の現状に対処して、住民負担の軽減を図るべく昭和四四年、四五年年度の税並びに税外負担の軽減額二千三百萬円に続いて、本年度は町道の新設改良費及び用地費、その他の税外負担金等一千四百萬円を軽減し、概ね税外負担の解消を図ることとした。
  - 二、農地並びに農業用施設

の災害復旧工事の完成

昭和四三年、四四年災害の復旧につき、昭和四五年年度予算において三千五百万円を計上して実施を図ったが、本年度は更に三千八百萬円を計上して復旧工事の完成を図ることとした。

三、総合センターの建設
 

- 過疎対策の計画に基づいて、松代に総合センターの建設を計画し予算五千七百三十七萬円を計上して老人青年、婦人等各層の集会施設を完備し、生活の向上を図り流動激しい「核」づくりとして、町づくりに必要な施設を整備し、地域住民意識の昂揚を図り、悩める農山村に明るい灯をともしべく町の建設に寄与することを計画する。

四、松代―松之山線(松代―小屋丸)松之山―浦田(辺地道路の新設改良工事)の推進。

特に交通に恵れない松代南部地区、山平地区巡環線犬伏―海老の通学道路等を優先するとともに県の代行橋梁工事に関連する松代―松之山線の改良を重点として計画した。

五、農道開設の推進
 

- 農業経営の改善上特に重要な農道の開設事業の推進を図るため、国、県補助費道開設費四千六百万円、町単費道助成費一千万円、計五千六百万円を計上して実

施することにした。

六、教育施設の整備
 

- 町民プールの建設、総合グラウンドの造成、教員住宅の新築、学校用地の買収等を計画して教育施設の充実を図ることとした。

七、国民健康保険事業の推進と老人医療対策の実施
 

- 医療費の増大に対処して一般会計より繰入金金の増額並びに保険税の強化を図り医療財政の健全性を計画するほか老人医療対策の充実のため八〇才以上の老人の方に対しては十割給付としまた寝たきりの老人の医療についても県の施策に基き予算を計上したものである

八、消防施設の充実
 

- 消防自動車、小型ポンプの購入、防火水槽、器具置場等の整備を年次計画に基づき計上した。

九、雪中の交通対策
 

- 雪上車の増設及び除雪、圧雪作業の拡大を図るためブルドーザー等の運営強化を計画し、従来の独立採算制の建設機械特別会計を廃止し、一般会計に統合し事業の強化を図り、過疎対策の一環として、冬期交通ステーションの設置を推進することとした。

十、事務の簡素合理化
 

- 事務量の増大に対処し、事務の合理化を図り、事務

職員増員は極力避け、新規増員は住民サービスに直接関係のある湿地用ブルドーザー運転手二名、マイクパス等の運転手一名、学校給食の栄養士一名、総合センター職員一名、計五名の増員にとどめた。

予算総額に対する人件費の構成比は、一九・二〇%(昭和四五年一八・五四%)財務統計による投資的経費は二億六千五百二十二万六千円、予算総額に対する構成比は四七・九九%(昭和四五年二億一千三十四万二千円、四七・八一%)となり、財政構造の実態は前年

職員増員は極力避け、新規増員は住民サービスに直接関係のある湿地用ブルドーザー運転手二名、マイクパス等の運転手一名、学校給食の栄養士一名、総合センター職員一名、計五名の増員にとどめた。

### 中学校統合特別委員会報告

#### “統合校舎位置は

#### 大字松代地内に”

松代町中学校統合特別委員会は、昨年十一月より数回委員会を開き、審議の結果、次のように決定し、三月定例議会に報告し承認を得た。

中学校統合について、道路行政、教育行政につき町当局、教育長の意見を聞き

それに基いて委員一同慎重審議の結果、国、県道並びに町の主要道路の整備が先決であるがこれが整備の目途が昭和四八年につくので

その後二カ年位を統合準備期間とし、昭和五一年をめぐりとして統合することが適当である。場所については教員の確保、学校給食、寄宿舎等の資料の調達等々の面から考へるときに大字松代地内が適当であろう。

以上が結論であるが、何分にも距離的に遠隔の生徒が多いので、車等の利用により、通学時間の短縮を図り、寄宿生を最少限にとどめるよう望みたい。

度と殆んど変わらないわけでありませぬ。

以上新年度予算編成にあたり私の考えについて大要を申し上げましたが、過疎対策事業を強力に推進し、遅れているこの山間松代町を一年でも早く先進地に追いつくべく日夜腐心しているものであります。今後、町の総合計画のもとに、住民みなさんの要望を建設的に承りまして努力邁進したい所存でございますので、新年度予算を軸として各種議案のご審議の程をお願い申し上げます。

昭和46年度松代町一般会計，特別会計予算

(単位：千円)

会計名	昭和46年度 予算額	備	考																																																																				
◎一般会計	545,000	<p>【経費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主管課</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.総務課</td> <td>187,665</td> <td>68,724</td> <td>総合センター建設費、消防施設費、雪上車・マイクローバス・ジープ購入費、公営住宅用地買収費</td> </tr> <tr> <td>2.産業課</td> <td>119,800</td> <td>2,138</td> <td>農道開設費、農地・農業用施設災害復旧費</td> </tr> <tr> <td>3.建設課</td> <td>91,801</td> <td>8,318</td> <td>道路維持費、道路新設改良費、土木災害復旧費</td> </tr> <tr> <td>4.社会課</td> <td>56,083</td> <td>15,125</td> <td>保育所増築費、危険物・ゴミ処理施設費、国保会計繰出金</td> </tr> <tr> <td>5.教育委員会</td> <td>89,651</td> <td>10,695</td> <td>教員住宅建築費、プール・総合グラウンド建設費、学校用地買収費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>545,000</td> <td>105,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【財源】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.市町村税</td> <td>38,447</td> <td>4,919</td> <td>11%増</td> </tr> <tr> <td>2.地方交付税</td> <td>260,000</td> <td>30,000</td> <td>13%増</td> </tr> <tr> <td>3.国庫支出金</td> <td>19,525</td> <td>△ 3,324</td> <td>民生費、教育費、災害復旧費等</td> </tr> <tr> <td>4.県支出金</td> <td>75,780</td> <td>△ 11,697</td> <td>災害復旧費、農道開発費等</td> </tr> <tr> <td>5.繰入金</td> <td>55,000</td> <td>35,000</td> <td>税外負担軽減 14,076</td> </tr> <tr> <td>6.町債</td> <td>58,900</td> <td>37,400</td> <td>総合センター建設費及び過疎対策費等 40,924 過疎債25,000、辺地債10,000、教育債8,700、農林債14,000、災害復旧債1,200</td> </tr> <tr> <td>7.繰越金</td> <td>8,335</td> <td>6,335</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8.その他</td> <td>29,013</td> <td>6,367</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>545,000</td> <td>105,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主管課	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.総務課	187,665	68,724	総合センター建設費、消防施設費、雪上車・マイクローバス・ジープ購入費、公営住宅用地買収費	2.産業課	119,800	2,138	農道開設費、農地・農業用施設災害復旧費	3.建設課	91,801	8,318	道路維持費、道路新設改良費、土木災害復旧費	4.社会課	56,083	15,125	保育所増築費、危険物・ゴミ処理施設費、国保会計繰出金	5.教育委員会	89,651	10,695	教員住宅建築費、プール・総合グラウンド建設費、学校用地買収費	計	545,000	105,000		科目	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.市町村税	38,447	4,919	11%増	2.地方交付税	260,000	30,000	13%増	3.国庫支出金	19,525	△ 3,324	民生費、教育費、災害復旧費等	4.県支出金	75,780	△ 11,697	災害復旧費、農道開発費等	5.繰入金	55,000	35,000	税外負担軽減 14,076	6.町債	58,900	37,400	総合センター建設費及び過疎対策費等 40,924 過疎債25,000、辺地債10,000、教育債8,700、農林債14,000、災害復旧債1,200	7.繰越金	8,335	6,335		8.その他	29,013	6,367		計	545,000	105,000		
主管課	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.総務課	187,665	68,724	総合センター建設費、消防施設費、雪上車・マイクローバス・ジープ購入費、公営住宅用地買収費																																																																				
2.産業課	119,800	2,138	農道開設費、農地・農業用施設災害復旧費																																																																				
3.建設課	91,801	8,318	道路維持費、道路新設改良費、土木災害復旧費																																																																				
4.社会課	56,083	15,125	保育所増築費、危険物・ゴミ処理施設費、国保会計繰出金																																																																				
5.教育委員会	89,651	10,695	教員住宅建築費、プール・総合グラウンド建設費、学校用地買収費																																																																				
計	545,000	105,000																																																																					
科目	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.市町村税	38,447	4,919	11%増																																																																				
2.地方交付税	260,000	30,000	13%増																																																																				
3.国庫支出金	19,525	△ 3,324	民生費、教育費、災害復旧費等																																																																				
4.県支出金	75,780	△ 11,697	災害復旧費、農道開発費等																																																																				
5.繰入金	55,000	35,000	税外負担軽減 14,076																																																																				
6.町債	58,900	37,400	総合センター建設費及び過疎対策費等 40,924 過疎債25,000、辺地債10,000、教育債8,700、農林債14,000、災害復旧債1,200																																																																				
7.繰越金	8,335	6,335																																																																					
8.その他	29,013	6,367																																																																					
計	545,000	105,000																																																																					
◎国民健康保険 事業特別会計	156,728	<p>【経費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.保険給付費</td> <td>141,088</td> <td>20,414</td> <td>療養給付費 138,733、助産費 900、葬祭費 450 育児手当 162、その他 843</td> </tr> <tr> <td>2.総務費</td> <td>5,075</td> <td>660</td> <td>職員 4名給与費、その他事務費</td> </tr> <tr> <td>3.保健施設費</td> <td>3,072</td> <td>505</td> <td>保健婦 2名給与費、その他</td> </tr> <tr> <td>4.諸支出金 その他</td> <td>7,493</td> <td>1,479</td> <td>直診事業繰出 3,000、予備費 4,000、その他 493</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156,728</td> <td>23,058</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【財源】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.国民健康 保険税</td> <td>34,011</td> <td>5,082</td> <td>世帯数 1,790世帯 一世帯当り 19,000円 3,000円増徴</td> </tr> <tr> <td>2.一部負担金</td> <td>39,986</td> <td>6,330</td> <td>療養給付費 138,732、406円×28.75%</td> </tr> <tr> <td>3.国庫支出金</td> <td>70,861</td> <td>12,571</td> <td>療養給付費 53,335、調整交付金 13,348 事務費その他 4,178</td> </tr> <tr> <td>4.繰入金</td> <td>8,697</td> <td>△ 991</td> <td>一般会計繰入 3,697、基金繰入 5,000</td> </tr> <tr> <td>5.その他</td> <td>3,173</td> <td>66</td> <td>繰越金その他</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156,728</td> <td>23,058</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.保険給付費	141,088	20,414	療養給付費 138,733、助産費 900、葬祭費 450 育児手当 162、その他 843	2.総務費	5,075	660	職員 4名給与費、その他事務費	3.保健施設費	3,072	505	保健婦 2名給与費、その他	4.諸支出金 その他	7,493	1,479	直診事業繰出 3,000、予備費 4,000、その他 493	計	156,728	23,058		科目	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.国民健康 保険税	34,011	5,082	世帯数 1,790世帯 一世帯当り 19,000円 3,000円増徴	2.一部負担金	39,986	6,330	療養給付費 138,732、406円×28.75%	3.国庫支出金	70,861	12,571	療養給付費 53,335、調整交付金 13,348 事務費その他 4,178	4.繰入金	8,697	△ 991	一般会計繰入 3,697、基金繰入 5,000	5.その他	3,173	66	繰越金その他	計	156,728	23,058																		
科目	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.保険給付費	141,088	20,414	療養給付費 138,733、助産費 900、葬祭費 450 育児手当 162、その他 843																																																																				
2.総務費	5,075	660	職員 4名給与費、その他事務費																																																																				
3.保健施設費	3,072	505	保健婦 2名給与費、その他																																																																				
4.諸支出金 その他	7,493	1,479	直診事業繰出 3,000、予備費 4,000、その他 493																																																																				
計	156,728	23,058																																																																					
科目	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.国民健康 保険税	34,011	5,082	世帯数 1,790世帯 一世帯当り 19,000円 3,000円増徴																																																																				
2.一部負担金	39,986	6,330	療養給付費 138,732、406円×28.75%																																																																				
3.国庫支出金	70,861	12,571	療養給付費 53,335、調整交付金 13,348 事務費その他 4,178																																																																				
4.繰入金	8,697	△ 991	一般会計繰入 3,697、基金繰入 5,000																																																																				
5.その他	3,173	66	繰越金その他																																																																				
計	156,728	23,058																																																																					
◎直診事業 特別会計	19,080	<p>【経費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.総務費</td> <td>9,017</td> <td>1,352</td> <td>医師外 4名給与費、需用費、その他</td> </tr> <tr> <td>2.医業費</td> <td>8,680</td> <td>1,800</td> <td>医薬品・衛生材料費 8,520、医療器具材料費 150</td> </tr> <tr> <td>3.施設整備費 その他</td> <td>1,383</td> <td>132</td> <td>建物賃借費 445、小型ジープ購入費 500 予備費 438</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,080</td> <td>3,284</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【財源】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.診療収入</td> <td>15,600</td> <td>2,688</td> <td>国保診療収入9,858千円、社会保険診療収入5,513千円、その他229千円</td> </tr> <tr> <td>2.繰入金</td> <td>3,000</td> <td>520</td> <td>国庫補助引当1,250千円、事業勘定繰入1,250千円 一般会計繰入500千円</td> </tr> <tr> <td>3.国県補助金 その他</td> <td>480</td> <td>76</td> <td>国県補助金 330千円 繰越金その他 150千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,080</td> <td>3,284</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.総務費	9,017	1,352	医師外 4名給与費、需用費、その他	2.医業費	8,680	1,800	医薬品・衛生材料費 8,520、医療器具材料費 150	3.施設整備費 その他	1,383	132	建物賃借費 445、小型ジープ購入費 500 予備費 438	計	19,080	3,284		科目	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.診療収入	15,600	2,688	国保診療収入9,858千円、社会保険診療収入5,513千円、その他229千円	2.繰入金	3,000	520	国庫補助引当1,250千円、事業勘定繰入1,250千円 一般会計繰入500千円	3.国県補助金 その他	480	76	国県補助金 330千円 繰越金その他 150千円	計	19,080	3,284																														
科目	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.総務費	9,017	1,352	医師外 4名給与費、需用費、その他																																																																				
2.医業費	8,680	1,800	医薬品・衛生材料費 8,520、医療器具材料費 150																																																																				
3.施設整備費 その他	1,383	132	建物賃借費 445、小型ジープ購入費 500 予備費 438																																																																				
計	19,080	3,284																																																																					
科目	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.診療収入	15,600	2,688	国保診療収入9,858千円、社会保険診療収入5,513千円、その他229千円																																																																				
2.繰入金	3,000	520	国庫補助引当1,250千円、事業勘定繰入1,250千円 一般会計繰入500千円																																																																				
3.国県補助金 その他	480	76	国県補助金 330千円 繰越金その他 150千円																																																																				
計	19,080	3,284																																																																					
◎農業共済事業 特別会計	20,234	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>予算額千円</th> <th>前年度比千円</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.農作物共済 勘定</td> <td>10,465</td> <td>704</td> <td>1kg当り共済金額 100円 1反歩当り共済金額(収穫皆無) 28,000円 水稻引受戸数 1,720戸 水稻引受反別 95.000 a</td> </tr> <tr> <td>2.蚕繭共済 勘定</td> <td>430</td> <td>△ 63</td> <td>1箱当共済掛金 春363円・夏秋400円 1箱当共済金(皆無) 春 16,000円・夏秋 14,000円 掃立戸数 270戸 掃立箱数 380箱</td> </tr> <tr> <td>3.家畜共済 勘定</td> <td>2,181</td> <td>△ 158</td> <td>引受頭数 530頭 1頭当平均10万円共済掛1,267円 1頭当支払共済金 {死亡平均 10万円 病傷平均 2,500円}</td> </tr> <tr> <td>4.業務勘定</td> <td>7,158</td> <td>896</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【経費】 職員 5名給与費 5,622千円 その他の業務費 1,536 計 7,158</p> <p>【財源】 国庫交付金 4,850千円 賦課金 1,064 一般会計繰入金 800 その他 444 計 7,158</p>	科目	予算額千円	前年度比千円	摘要	1.農作物共済 勘定	10,465	704	1kg当り共済金額 100円 1反歩当り共済金額(収穫皆無) 28,000円 水稻引受戸数 1,720戸 水稻引受反別 95.000 a	2.蚕繭共済 勘定	430	△ 63	1箱当共済掛金 春363円・夏秋400円 1箱当共済金(皆無) 春 16,000円・夏秋 14,000円 掃立戸数 270戸 掃立箱数 380箱	3.家畜共済 勘定	2,181	△ 158	引受頭数 530頭 1頭当平均10万円共済掛1,267円 1頭当支払共済金 {死亡平均 10万円 病傷平均 2,500円}	4.業務勘定	7,158	896																																																		
科目	予算額千円	前年度比千円	摘要																																																																				
1.農作物共済 勘定	10,465	704	1kg当り共済金額 100円 1反歩当り共済金額(収穫皆無) 28,000円 水稻引受戸数 1,720戸 水稻引受反別 95.000 a																																																																				
2.蚕繭共済 勘定	430	△ 63	1箱当共済掛金 春363円・夏秋400円 1箱当共済金(皆無) 春 16,000円・夏秋 14,000円 掃立戸数 270戸 掃立箱数 380箱																																																																				
3.家畜共済 勘定	2,181	△ 158	引受頭数 530頭 1頭当平均10万円共済掛1,267円 1頭当支払共済金 {死亡平均 10万円 病傷平均 2,500円}																																																																				
4.業務勘定	7,158	896																																																																					

◎簡易水道事業特別会計	3,915	経費 1.職員1名給与費並び水道施設維持費 1,997千円 2.償却積立金 1,230 3.公債費その他 688
◎建設機械施設事業特別会計	—	【財源】 1.衛生使用料 2,930千円 2.繰越金その他 985
合計	744,957	【一般会計に統合】

## 昭和46年度松代町一般会計新規主要経費予算額

(単位：千円)

総務課		建設課	
項目	予算額	項目	予算額
1.特別職並び一般職給与費	99,656	2.町単農道助成費	10,000
2.農山村総合センター建設費	57,370	3.農地災害復旧費	10,834
3.消防施設整備費	8,800	4.農業用施設災害復旧費	27,875
4.雪上車整備費	700	5.たばこ耕作助成費	346
5.マイクロバス購入費	1,500	6.養蚕奨励費	1,287
6.シーブ更新費	1,350	7.養鯉奨励費	250
7.公営住宅宅地購入費	3,931	8.出織施設費助成費	300
8.参議院等選挙費	3,613	9.農業構造改善事業費	1,571
9.大学奨学金	1,500	計	99,721
計	178,420		
社会課		教育委員会	
項目	予算額	項目	予算額
1.浦生保育所建築費	2,770	1.道路維持費	12,735
2.危険物処理場建設費	2,419	2.道路新設改良費	36,700
3.ゴミ処理場建設負担金	4,000	3.町単土木災害復旧費	7,230
4.児童遊園地整備費	750	4.補助土木災害復旧費	4,651
5.ねたきり老人並に社保80才以上医療費等老人対策費	3,108	5.建設機械運営費	13,960
6.国保会計繰出金	3,697	6.住宅管理費	1,369
計	16,744	計	76,645
産業課		教育委員会	
項目	予算額	項目	予算額
1.補助農道開設費並び舗装費	47,258	1.教員住宅建設費	8,070
		2.町民プール建設費	15,073
		3.総合グラウンド建設費	1,001
		4.学校用地買収費	2,505
		5.学校営繕工事費	3,762
		6.学校教材費	6,175
		計	36,586
		合計	408,116

# 松代町総合計画の

## 基本構想議決

別掲のとおり三月定例議会において町総合計画審議会の答申に基づき、町の基本構想案を議会の議決を経るため提案された。

なお議会に提案されたものは、基本構想の審議であり、基本構想の審議であり、計画の必要性と基本的な考え方については町としては次のようであります。

1. 行政の多種多様化によって、市町村という行政機関の本来の意義が忘れられ、とかく枝葉末端の問題にとらわれがちな傾向がおこる危険がありますので、複雑多様な行政をスムーズに、しかも効果的に執行するためには、その取捨選択、進め方等について総合的な計画性がなければならぬという事。

ないもので、長期的な計画性のある行政運営を進めなければならないという事。

3. 行政の需要に対して、財政力が極めて限られております。これがために財政投資の有効適切な配分が必要であり、それには長期的な見通しにたった計画がなければならぬこと。

基本構想の内容は、その作成に当たっては、まづ現実の問題点を提起しまして対策の基本とした。この中でとらええた点を要約しますと、

交通施設の不備  
地形地理的条件の不良  
気象条件、特に豪雪  
という三点が町の発展を阻害してきた最大の障害であるというように認識いたしました。これがために生じた現象が過疎の問題でありその根低となったのが生産基盤の欠如、都市的機能の低位性であって、これが青少年層の離町となり、人口構造の老令化であると考えられます。このような認識に立って計画の目標を定め

てあります。

松代町の将来図と申しますが、未来像の設定に当たっては、問題点の改善が行われ、交通環境の飛躍的進歩がなされるものという前提に立ってこれを基礎として想定されてあります。

具体的に申しますと、鉄道の開通、国道道の改修、舗装、道路無雪化の完成が考えられます。交通環境の整備は、近接都市への通勤が可能となることであり、青少年層定着のための条件の一つが整うことになりま

す。また一方では農村工業導入の可能性も満たすことになりま

す。これによって産業構造の改革が起り現在の第一次産業に片寄りすぎている構成が二次三次産業へ移動して、住民所得の上昇が見込まれると思われるという事です。

町の青写真を以上のように画きまして、これに到達するための基本方向を次のように策定してあります。

1. 人口の規模及び労働力の見直しは、目標人口を七、五〇〇人、現在の八、〇〇〇人、現在の八〇%

産業別就業人口  
第一次産業 現在の五〇%  
第二次産業 現在の二四%  
第三次産業 現在の二四%  
一、四五〇人

2. 産業発展の方向と規模構造  
人口一人当り分配所得は現在全国平均の五五%であります。目標年次には八四%位に接近できる可能性がある。

3. 生活圏の設定  
町を五つの基礎集落圏、二つの一次生活圏に区分し、それぞれを中心地を公共施設整備の核として生活圏のネットワークを形成することとする。

良を進めるものとする。

5. 住民生活の将来像  
生治水準の上昇に伴なり住民の学習意欲の向上に

本日本提出された計画もこのような考え方をうけて審議会の議を経て作成されたものであります。計画の構成は第一部から第三部の三部門に大別されております。

このうち第一部 基本構想は、昭和六〇年を目標年次とする長期的展望に立って、松代町の存立している地域社会についての現状の認識及び将来への見直しを

基礎としまして、振興発展の将来図及びこれを具現するために必要な施策の大綱を定めたものであります。

### 町議会 定数の改正

#### 議員定数

## 22名となる

昭和四五年国勢調査の結果の公表は、本年三月以降になる旨の県からの連絡であり、松代町の人口は一人を下げたので、議員定数は二十二名となるのであるが、国勢調査人口の公表がなされない間は、条例を設ければ昭和四十六年二月一日現在官報に公示されている人口(昭和四十年国勢調査)を用いることができる

が、松代町の人口の推移等を考慮し、現在二十六人の定数を四人減数して二十二人にすることに減数条例を可決した。

松代町の職員の定数は現在町長の事務部局職員、農業委員会事務部局職員、教育委員会事務部局職員(各学校職員を含む)、議会議務部局職員等合計で一〇一名の定数となつていてこのたび新年度においてブルドーザー、マイクロボス運転手、栄養士、総合センター、保育所職員等計八名増員して合計一〇九名とする定数条例の一部改正が三月十一日可決された。

第三部は、基本計画をうけて、現実の市町村行政の中で具体的な実施計画を示すものであります。

### 附議事件及び議決結果一覧表

(議決順)

- 報告一号 松代中学校統合 促進特別委員会報告 承認
- 議第一号 昭和四五年年度一般会計歳入歳出補正予算 議決
- 議第三〇号 災害復旧事業負担金の減免について 議決
- 議第二号 昭和四十五年度特別会計国民健康保険事業歳入歳出補正予算 議決
- 議第三号 教育委員会委員の任命について 同意
- 議第四号 固定資産評価審査委員の選任について 同意
- 議第五号 新潟県交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について 議決
- 議第六号 松代町職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正について 議決
- 議第七号 町道の廃止及び認定について 議決
- 議第八号 松代小学校池尻分校の廃止について 議決
- 議第九号 松代町立学校設置条例の一部改正について 議決
- 議第一〇号 松代町民プール設置及び管理に関する条例の一部改正について 議決
- 議第一一号 東頸城ごみ処理施設組合の設立について 議決
- 議第一二号 ごみ処理施設組合議会議員の選挙について 議決
- 議第一三号 松代町総合計画基本構想の議決について 議決
- 議第一四号 米生産調整推進協議会設置条例の制定について 議決
- 議第一五号 松代町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 議決
- 議第一六号 松代町特別職の職員で非常勤のものに報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 議決
- 議第一七号 松代町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について 議決
- 議第一八号 松代町教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部改正について 議決
- 議第一九号 松代町職員の旅費に関する条例の一部改正について 議決
- 議第二〇号 松代町奨学金貸与条例の一部改正について 議決
- 議第二一号 松代町管住宅条例の一部改正について 議決
- 議第二二号 松代町立教員住宅条例の一部改正について 議決
- 議第二三号 松代町土木事業費負担金条例を廃止する条例の制定について 議決
- 議第二四号 証人等の実費弁償等に関する条例の一部改正について 議決
- 議第二五号 松代町農業共済条例の一部改正について 議決
- 議第二六号 農業共済賦課額及び賦課単価の決定について 議決
- 議第二七号 松代町議会議員の定数を減少する条例の制定について 議決
- 議第二八号 松代町職員の数数条例の一部改正について 議決
- 議第二九号 土地改良事業の実施について 議決
- 議第三〇号 松代町国民健康保険条例の一部改正について 議決
- 議第三一号 昭和四六年度一般会計歳入歳出予算 議決
- 議第三二号 昭和四六年度特別会計国民健康保険事業歳入歳出予算 議決
- 議第三三号 昭和四六年度特別会計簡易水道事業歳入歳出予算 議決
- 議第三四号 昭和四六年度特別会計簡易水道事業歳入歳出予算 議決
- 議第三五号 昭和四六年度特別会計農業共済事業歳入歳出予算 議決
- 議第三六号 松代町建設機械施設特別会計設置条例を廃止する条例の制定について 議決
- 議第三七号 松代町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について 議決

あるものを五千円に改正された。

業歳入歳出予算 議決  
 議第三四号 昭和四六年度特別会計簡易水道事業歳入歳出予算 議決  
 議第三五号 昭和四六年度特別会計農業共済事業歳入歳出予算 議決  
 議第三六号 松代町建設機械施設特別会計設置条例を廃止する条例の制定について 議決  
 議第三七号 松代町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について 議決

町の奨学金  
 本年度から貸与に改正

### 葬祭費を増額

三月定例議会において、松代町国民健康保険条例の一部改正が提案され、被保険者が死亡したときは、その者の葬祭を行うものに対し、葬祭費が従来三千円で

返還の必要なく支給していたが、昭和四十六年度入学者から貸付けることに改正され、奨学金の額も一人月額一万円以内に改め、奨学金の返還については貸与終了の翌月から一年を経過後一〇年以内で年賦をもって償還することとし、奨学金は無利息である。(松代町奨学金貸与条例の一部改正 三月十一日議決)

こういう方はいらっしやいませんか  
 ……気軽に相談を…

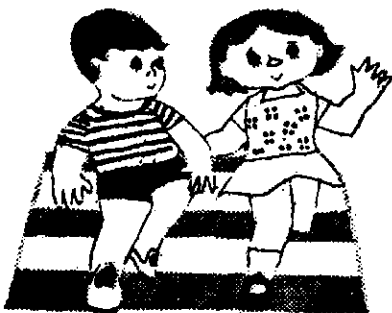
役所の仕事について、不親切だ。納得できない。こうすれば良い。とか、人権、住宅、家庭、金銭、土地家屋、農事、民事、刑事、等でお困りの方や、ご意見のある方は相談委員にご相談下さい。相談は無料で秘密厳守です。ご安心の上お出下さい。相談日は毎月十五日です。緊急の場合はいつでも受付ます。

行政人権相談委員

松代 小林寺 佐藤 秀雄

(電話 松代 四四番)

横断は左右を見て



## 車はこわい

## 飛び出すな!!